











水性アトムエポクリーン

(コンクリート床用)

優れた耐久性

低 臭

水性アトムエポクリーンは、低臭・安全性の高い塗床材。操業している隣でも施工ができるので、作業を止めることなく塗装できます。さらに、様々な薬品、重量物の走行による衝撃・摩耗に強く塗膜が長持ちするので、塗装回数が減らせるため、ランニングコスト抑制に貢献します。

簡単、きれい 水性エポキシ

特長

4 操業中でも施工可能

水性タイプで低臭なので、操業している隣 で施工できます。

2 ランニングコストを抑えます フォークリフトの走行にも耐えられる耐久性があ るため、塗膜が長持ちしランニングコストが抑 3 塗り替えに最適

溶剤型塗料のように塗膜を溶かさないので、 様々な既存塗膜の上から塗装できます。

〈直塗り可能な既存塗膜〉

- ●フロアトップアクアW#5000・エポ21、フロアトップ #1400・#5000・#8000・#8500・#8500速乾・エポワン・ アクアクリーンU・水性アトムエポクリーン(当製品)=既存 塗膜表面をサンディング後、プライマーなしで直塗りできま す。
- ●フロアトップアクアフォルティス、フロアトップ#7000=サンディング後、ハエレオの塗装により上塗り可能です。
- ※当社品以外の既存塗膜が塗装されている場合は、塗装履 歴を確認のうえ、ご相談ください。

用途

各種工場、倉庫、事務所等の屋内コンクリート面の特に通行の激しい床の美化と保護

荷姿・塗り面積・安全性・標準色

[荷 姿] 水性アトムエポクリーン

えられます。

15kgセット: 主剤12kg/石油缶、硬化剤3kg/5L角缶

フロアトップアクアプライマー ハエレオ

5.5kgセット:主剤5kg/11L缶、硬化剤0.5kg/1L角缶2.2kgセット:主剤2kg/4L丸缶、硬化剤0.2kg/0.5L角缶

/ 浸透添加剤 2.0kg/2.2L角缶(5.5kgセット用) 0.8kg/1L角瓶(2.2kgセット用)

防錆添加剤 0.8kg/1L丸缶(2.2kgセット用)



塗装色は#11グリーン

[安全性]

| | 製品名 | 文部科学省 学校環境衛生の基準 指定6物質 | 厚生労働省指針 環境13物質 | |
|---|------------|-----------------------------|-------------------|--|
| 水 | 性アトムエポクリーン | 非配合 | 非配合 | |

| (一社) 日本塗料工業会登録 | | | |
|------------------|--------|--|--|
| 登録番号 | A03053 | | |
| ホルムアルデヒド 放散等級 | F☆☆☆☆ | | |

消防法:

主 剤/指定可燃物・ 可燃性液体類・ 火気厳禁

硬化剤/非危険物

[塗り面積]

#31 スパニッシュブラウン

| コーティング工法 | 40∼50 m² |
|------------|----------|
| コーティング防滑工法 | 20∼25 m² |

下地の状況や仕様により塗り面積は増減します。

「標準色」 10色(調色も承ります)

#9 サマーグリーン #10 ディープグリーン #11 グリーン #15 ライムグリーン

※日塗工色見本には無いため色見本を掲載します。

#40 ベージュ

※この色見本は印刷物のため実際の色調とは多少異なります。

標準色の指定・選定・ご注文は必ず別冊の標準カラーサンプルでお願いします。

#50 アイボリー





#60 スカイブルー

#21 アメリカングレー

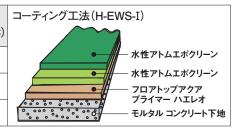
#80 ホワイト

水性アトムエポクリーン

施工仕様例

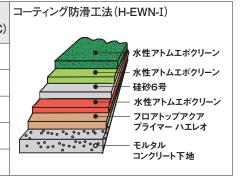
(1)コーティング工法

| 工程 | 製品名 | 希釈剤 | 希釈量 (wt%) | 塗布量 (kg/m³) | 塗装間隔 (時間 /23℃) |
|-----|---------------------|-----|--------------|----------------|-------------------|
| 下塗り | フロアトップアクアプライマー ハエレオ | _ | _ | 0.10 | 2以上 |
| 中塗り | 水性アトムエポクリーン | 水 | 20(冬期30) | 0.15 | 12以上 |
| 上塗り | 水性アトムエポクリーン | 水 | 20(冬期30) | 0.15 | _ |



②コーティング防滑工法

| 工程 | 製品名 | 希釈剤 | 希釈量 (wt%) | 塗布量 (kg/㎡) | 塗装間隔 (時間 /23℃ |
|------|---------------------|-----|--------------|---------------|------------------|
| 下塗り① | フロアトップアクアプライマー ハエレオ | _ | _ | 0.10 | 2以上 |
| 下塗り② | 水性アトムエポクリーン | 水 | 20(冬期30) | 0.15 | 直後 |
| 骨材散布 | 硅砂6号 | _ | _ | 0.15~0.30 | 24 |
| 中塗り | 水性アトムエポクリーン | 水 | 20(冬期30) | 0.30 | 24 |
| 上塗り | 水性アトムエポクリーン | 水 | 20(冬期30) | 0.20 | _ |
| 上塗り | 水性アトムエポクリーン | 水 | | | 24 — |



- 新設面への下塗りは、フロアトップアクアプライマー ハエレオ+浸透添加剤をご使用ください。 新設および塗り替えどちらの場合でも、下地処理は必ず必要です。下地処理方法は現場により異なりますので、施工仕様書を参照ください。

可使時間と硬化時間

| 気温 | 5℃ | 10℃ | 20℃ | 30℃ |
|--------|------|------|------|-----|
| 可使時間 | 8時間 | 8時間 | 8時間 | 8時間 |
| 指触乾燥時間 | 1時間 | 1時間 | 30分 | 15分 |
| 歩行開放時間 | 48時間 | 24時間 | 12時間 | 5時間 |

〈冬期・気温が低いとき(15℃以下の場合)〉

- ・換気が悪いと著しく硬化時間が長くなり、色分かれ等の原因となります。
- ・希釈量は、水で通常 20%・冬期 30%です。

〈可使時間を過ぎた塗料を塗装したとき〉

・つやむらや造膜不良になる場合があります。 可使時間 (ポットライフ) は厳守してください。

注意事項

1.塗装(施工)前の注意

- (1) 5℃以下の場合には、塗装を避けてください。
- (2) 降雨・降雪・高湿・高温または低温時は、作業環境を整えてから施工してください。
- (3) 下地処理は塗料の付着力を決定する重要な工程です。施工仕様書等をよくお読みの 上、充分注意して行ってください。

2.塗装(施工)中の注意

- (1) 下地が濡れている場合には、充分に乾燥させてから次の工程に着手してください。
- (2) プライマーの乾燥後、時間を空け過ぎると、上塗り塗料との付着力が低下する場合 があります。プライマーとその次の工程までは、同一日に塗装する様お願いします。
- (3) 塗装中は、換気をよくしてください。
- (4) 二液性塗料の計量、混合撹拌は、はかりおよび電動撹拌機を用いて行い、可使時間(ポッ トライフ) にも充分注意して塗装してください
- (5) 塗料を小分けする場合は、必ず小分け前に充分撹拌し、均一にした後にはかりを使 用して計量、混合してください。

3.塗装(施工)後の注意

- (1) 温度が高いとき、気温の低いときは乾燥が遅れる場合があります。途装工程では常 に乾燥状態を確認してから次の工程に入ってください。
- (2) 養生時間 歩行開放=12時間 重量物開放=48時間(気温23℃・湿度50%)
- (3) 塗装用具の洗浄には水をご使用ください。
- (4) 塗装用具等を洗浄した水等を、河川や湖沼へ流したりしないようご注意ください。
- (5) 直射日光が当たり高温となる場所や、凍結する恐れのある場所を避けて保管してく ださい。

4.塗装面別の注意

(1) 新設コンクリートは最低4週間以上の養生が必要です。下地コンクリートに水分が多 い場合は塗装を避けてください。塗装前に下地面にポリシート(1㎡以上)を張り付 け、翌日、下地面が黒くなったり、ポリシート内面に水滴の付着がないことを確認し た後塗装してください。

(ケット水分計HI-520で測定した場合の水分量がDモードで700以下、チャンネル4で 5%以下を目安にする)

- (2) 普通コンクリートにおいてレイタンス、エフロレッセンス等をポリッシャーサンダ - 等で完全に取り除いてください。
- (3) 現場の立地条件等によって背面水圧の影響を受け、塗膜にフクレ等の不具合を生じ る場合があります。
- (4) コンクリート面をドライバー等で引っかいても傷がつきにくく水が浸透しにくい強 化コンクリートの場合やさらに油汚れが付着している面では、下地処理の方法や下 **塗り材の種類が異なりますので、当社にお問い合わせください。**
- (5) 既存塗膜面の塗り替えは、既存塗膜の除去が必要かを確認し、除去しない場合は、当 社発行「フロアトップ資料編」の相互付着表をご参照ください。(既存塗膜の種類によ って塗装仕様が異なります)
- (6) 風化したコンクリート面、雨に打たれたり凍結により強度のないコンクリートの場 合は当社にお問い合わせください。

5.全般的注意

- (1) 製品ご使用の際には、当販促物の他、製品本体記載の注意事項およびSDS(安全デー タシート)・施工仕様書をよくお読みください。
- (2) 塗装中、乾燥中ともに換気をよくしてください。
- (3) 改良等のため、①製品の中身、仕様 ②販促物の内容等は将来予告なしに変更する場 合があります。
- (4) 当販促物に表示してあります塗り面積、工法はあくまでも設計上の標準的な数値で す。塗装の際の諸条件によって増減する場合があります。
- (5) 製品本体および当販促物に記載されている、定められた用途以外には使用しないで ください。またご使用方法等につきましてご不明な点がございましたら、必ずご使用 前に当社にお問い合わせください。

アトミクス株式会社 塗料事業部

〒174-8574 東京都板橋区舟渡3-9-6 TEL.03-3969-3125(直通) FAX.03-3968-7300 検索 アトムエポクリーン 社 〒174-8574 東京都板橋区舟渡3-9-6 TEL (03)3969-3111 FAX (03)3968-7300 ■ 加須受注センター 〒347-0017 埼玉県加須市南篠崎1-12-1(加須工業団地内) TEL (0480)65-1154 FAX (0480)65-6909 ■ 大 阪 支 店 〒574-0053 大阪府大東市新田旭町2-22 TEL (072)872-3111 FAX (072)872-1222 ■ 仙 台 営 業 所 〒982-0011 仙台市太白区長町6-8-7(ハイコートアイ1F) TEL (022)249-7371 FAX (022)249-7372 ■ 新 潟 営 業 所 〒950-0982 新潟市中央区堀之内南2-19-14(和合ビル) TEL (025)244-8011 FAX (025)244-8012 ■ 横 浜 営 業 所 〒224-0033 横浜市都筑区茅ヶ崎東3-17-43 TEL (045)943-8911 FAX (045)943-8912 ■ 名 古 屋 堂 業 所 〒462-0043 名古屋市北区八代町1-9(北村ビル2F) TEL (052) 914-3900 FAX (052) 916-0892 ■ 広 島 営 業 所 〒739-1734 広島市安佐北区口田1-8-17(小夫家ビル) TEL (082)845-2202 FAX (082)845-2203 ■ 福 岡 営 業 所 〒812-0863 福岡市博多区金の隈1-33-31 TEL (092)503-5200 FAX (092)503-5308 ■ 加 須 工 場 〒347-0017 埼玉県加須市南篠崎1-12-1(加須工業団地内) TEL (0480)65-1159 FAX (0480)65-7146

